





允為里德商店

●韓國經濟協會

公人私人  
 ▲中江登五十一號隊中尉 一昨日入京不知  
 ▲野村新太郎閣下 一昨日入京不知  
 ▲松上虎太郎三等軍醫 一昨日入京不知  
 ▲伊藤 公鳳堂に供奉する爲に歸任亦も  
 期して廿四日頃なるべしと雖も延る意  
 ▲韓人 曰く伊藤公の歸任往來通過する  
 事官廳を辭する心算ならんと主官の腰  
 刀に對し其の意を察するに及ばず  
 怪まれる兎角明證を欠くは甚だ宜しから  
 一方より見れば桂侯と會東て統帥  
 の豫算に對して八釜教育への杯の事も  
 ▲由來 公の性格に於ては甚だ矛盾ありて電  
 胸中に戰ふ爲に世人を迷すことある  
 ▲伊藤 公歸任に對しては韓民殊に政權  
 は多大の希望を有し居るが或は越境  
 ▲今回の歸任に就ては韓民の面目  
 新する位にヨボ共は考へ居るも是は終  
 ▲惟ふに伊公歸任するも大なる變動は  
 かるべし或は現状維持となり畢るに至ら  
 ▲某京 風氣供奉の爲に舊藩西に飛渡  
 寸の間は政界の中心西都近傍に集まら  
 ▲山縣 公も既に西下して無牌唐に入  
 伊藤公亦西都に向はる其其他諸士西下  
 ▲香港 の舉動益々激甚に留日日本人の  
 武裝しつゝ眠ると云ふ支那國民にも困  
 ▲此輩 徒が背後に暴君ありて一意煽動  
 ると云ふに至りては甚だ憎むべし懲戒  
 ▲南清 暴動には革命黨も無難の漢人  
 動せられて之に合するものあり全く混濁  
 ▲妙な 氣運の此間に於ける爲に眼  
 日本に於て迄の及ぶが如きは其甚だ  
 ▲清使 唐紹儀君東京を退く異は得意  
 交によりて思の儘に日本外交家を折衝  
 ▲其退く 何となく我は感しど  
 の色なるに至りては如何なる我は感しど  
 ▲登宜 懷去り唐紹儀去て清國との  
 に多少面目を革むるの所ありと聞  
 ▲伊集 院公使北京にありて大に違  
 所ありむされど更に大頭株の政治家を  
 ▲大郎 宰相が思ひ切て大隈伯を離し  
 京に遊ばしむる策を取らば甚だ面白  
 ▲大隈 伯にして起れば伊藤公に  
 山縣公にても可なり清國には此策必要  
 ▲此む を得ずんば山本廉兵衛を起す  
 也故は兎角以上外交の手段を有する  
 ▲本 には武人勢力の力ならず専門  
 よりも外交に長ずる人ありと云ふ事



-419-



